



病院理念『地域に信頼される病院』を目指します。

- 1.患者さんの視点に立った優しい医療
- 1.安全な医療
- 1.医療技術向上のための研修と教育

- 1.職域間の連携と和
- 1.地域医療・福祉期間との緊密な連携

# 整形外科医師 紹介

皆様、初めまして。本年9月より笛吹中央病院整形外科に勤務させていただいている片桐佳樹と申します。出身は南アルプスのちょうど反対側の長野県の伊那谷です。以前笛吹川フルーツパークに遊びに来たことがありましたが、雄大な富士山や八ヶ岳、とても親しみのある南アルプスなどが一望できる風光明媚なこの地が大変気に入っておりますので、この病院で働かせていただけることになり、大変喜んでおります。

私の医師としてのスタートは名古屋市内の病院でした。そこで股関節臼蓋形成不全に対臼蓋回転骨切術、四肢外傷、脊椎疾患について多くの症例を経験させていただきました。次に信州大学付属病院をはじめ長野県内の病院にて、人工膝関節手術、前十字靭帯再建術を中心とした膝関節外科また人工股関節手術などについて多くの症例を経験させていただきました。

日本人の平均寿命は世界的に見ても非常に長くなっていますが、近年は自立した生活を送れる健康寿命をより長くしていこうということや、骨や関節の障害によるロコモティブシンドロームの予防ということが盛んに言われています。骨折や、膝関節痛などの関節痛が原因で、歩行が困難となったり、日常生活を自分で営むことが困難となってしまうと生き生きとした生活は送れなくなってしまいます。

私は整形外科医として、微力ではございますが、地域の皆様の手助けが少しでもできればうれしく思っております。どうぞよろしくお願い致します。



整形外科医  
片桐 佳樹医師



# トリアージ訓練

9月8日、当院で笛吹消防署・笛吹市役所・日本赤十字社会員・地域の方々の協力の元、約2時間大規模災害時対応訓練を行いました。

「トリアージ」という言葉があります。人材・資源に限られた災害時において、最善の救命効果を得るために、多数の傷病者を重症者と緊急性によって分別し、治療の優先度を決定する事です。相対的に医療資源が不足する状況では、全く処置されない場合があるという事です。わかりやすく言いますと、1人の重傷者を犠牲にしても、10人の軽傷者の生命を救う事は災害時においては起こりえる事なのです。

訓練では、日中に震度6強が起こったと想定し行われました。地震発生後まずは、病院の被災状況を確認します。医療の継続が出来ると判断し、1階へ集合。医師を中心とした様々な職種が集まり、受け入れる患者様の重症レベルに応じたチームを結成しました。傷病者が次々と運ばれ緊迫した雰囲気の中、皆で声を掛け協力し合い処置・検査・入院・搬送などスムーズに行えるように訓練をしました。

災害といえば、昨年東日本大震災が起こり、身近に危険を感じたことは記憶に新しいと思います。現在30年以内に、山梨県で震度6以上の地震が起こる確率は90%と言われています。明日起こるかもしれない災害に対し、危機意識を持ち生活を送らなければならない状況が伺えます。まずは日々の防災意識をもう一度見つめ直し、いざという時の行動を考える事が非常に大切です。



## よりよい医療を提供するために

私たち笛吹中央病院は、医療を受けられる患者さんの権利を最大限尊重することを誓います。同時に患者さんにも医療を受ける者としての責務を尊重していただくことをお願い致します。

### 患者さんの権利

1. 健康状態、現在の病気の状態、治療内容、治療の見通しについて、十分な情報と説明を納得するまで受けることができます。
2. 十分な情報提供を受けた上で、当院で治療を受けるか否か、さらには治療方法の選択を自らの意思で決めることができます。
3. 他の医師の意見を聞くために、他の医療機関を紹介してもらう(セカンドオピニオンを受ける)ことができます。
4. 診療情報は保護され、プライバシーは最大限尊重されます。
5. 自分の診療録の開示を求め、診療内容について説明を受けることができます。
6. 良好で快適な環境で医療を受けることができます。

### 患者さんへのお願い

1. 適切な医療を受けるために、自らの健康状態、病歴、血縁者の病歴など、必要とされる情報を正確にお伝えください。
2. 他の患者さんの医療環境を乱す迷惑行為はご遠慮ください。
3. 医師、看護師など医療従事者の医療活動を故意に乱す行為はご遠慮ください。
4. 病院敷地内禁煙、禁酒をお守りください。
5. その他、院内規則をお守りください。

# 平成24年度 診療実績

## 稼働率・入院患者件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
入院患者件数	124	125	125	141	108	144							767	128
退院患者件数	121	109	138	126	127	131							752	125
病棟稼働率	86.3%	82.3%	88.2%	90.3%	87.7%	87.1%								87.0%

## 外来患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
H22年度	5,156	5,139	4,785	5,279	5,275	5,067	5,372	5,170	5,406	5,458	5,195	5,616	62,918	5,243
H23年度	5,790	5,681	5,907	5,865	6,055	5,632	6,222	6,121	6,348	6,103	5,877	6,158	71,759	5,980
H24年度	5,613	5,768	6,038	6,058	6,260	5,837							35,574	5,929

## 初診患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
H22年度	714	770	704	835	806	755	735	747	829	910	809	895	9,509	792
H23年度	870	900	868	840	914	777	908	806	944	1,031	934	941	10,733	894
H24年度	993	989	1,040	1,047	1,054	958							6,081	1,014

## 救急車受入れ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
H22年度	57	66	69	68	76	51	60	59	74	69	53	60	762	64
H23年度	69	51	50	80	87	59	53	69	70	73	68	87	816	68
H24年度	65	62	57	71	76	71							402	67

## 紹介患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
H22年度	91	70	81	94	73	91	106	81	86	81	96	91	1,041	87
H23年度	98	70	97	72	97	91	91	73	94	71	84	83	1,021	85
H24年度	101	83	91	89	67	71							502	84

## 手術件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
H22年度	41	46	38	45	51	50	56	47	56	60	55	51	596	50
H23年度	52	51	61	57	62	45	55	55	46	63	61	71	679	57
H24年度	54	60	63	70	59	66							372	62

## 内視鏡

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
上部消化管内	51	132	148	198	170	171							870	145
下部消化管内	21	22	26	50	62	51							232	39
胃ろう・その他	5	7	4	7	13	7							43	7

# ポリオワクチン



9月1日からポリオ不活化ワクチンの定期接種が、本格的に始まりました。

## ○ポリオ(小児マヒ・急性灰白髄膜炎)の経緯

生ワクチンの普及により、1980年以降30年以上にわたり日本では、みられていません。

1960年のポリオ大流行を終わらせたのは、経口生ワクチンでした。しかし、アフリカやインド大陸など一部の国々では軽視できません。ポリオの多くは不顕性感染(病気としての明らかな症状は現れず、知らない間に免疫ができる)ですが、ウイルスの一部が脊髄に入り込み、主に手や足に麻痺が現れます。多くの場合、この麻痺は一生残ります。麻痺が現れた患者の周囲には、数百人～千人程度の不顕性感染者がいると言われています。つまり、数百人～千人に一人の割合で発症しています。

潜伏期間は4日から35日(平均2週間)

## ○生ワクチンの現状

5万人以上の投与に1人の割合で発症。また、受けた者は、15日～37日(平均28日)にわたり便の中に排出するので、ワクチンを受けていない人の中には感染することもあります。年に1～2名程度。

## ○不活化ワクチンの副作用

稀の発熱や接種部位の腫れなどで、小児マヒのおそれは全くありません。

## ○おすすめの受け方

- ①生ポリオワクチン、不活化ワクチン、三種混合ワクチンのいずれかを、1回でもしている場合は不活化ワクチンを接種します。
- ②生ポリオワクチンと不活化ポリオワクチンの合計が4回になるように不活化ワクチンを接種します。
- ③生ポリオワクチンを2回接種した人は、不活化は接種しません。

※数か月後には、3種混合＋不活化ポリオワクチンの導入も検討されています。

# 外来担当医表

★受付時間:午前8:00-12:30(月~土) 午後13:30-17:00(月~金)  
★診察時間:午前9:00-13:00(月~土) 午後14:00-17:30(月~金)

H24年9月3日~

	月	火	水	木	金	土	おしらせ
内科	午前	山口 北村教授 (山梨大学)	福田/大久保 張磨 (山梨大学)	三枝/大久保 田章川 (循環器内科)	福田 山口	小林 岩尾 (山梨大学)	土曜 尾崎教授(山梨大学)は予約制です。 外来窓口にお問い合わせください。
	午後	大久保 北村教授 (受付15:30迄)	山口 (呼吸器外来) 三森 (山梨大学)	福田 (肝臓病外来) 岩尾 (山梨大学)	小林 大久保	三枝 西岡 第1.3のみ診療 (リウマチ外来)	
外科	午前	長沼 石井	金城	石井	金城	西山	第1・3 長沼 第2・4 石井
	午後	西山		西山 (一般外科 そけいヘルニア外来)	長沼		
消化器	午前	石井		石井		石井	第2・4 石井
整形外科	午前	真島 山本	時吉 片桐	真島 片桐	時吉 (受付11:30迄) 山本 (受付11:30迄)	真島 片桐	第1・3 山田 第2・5 笹原 第4 高木
	午後	時吉			真島	担当医	
小児科	午前	磯貝	磯貝	磯貝		磯貝	毎週月~金曜(木曜除く)午後2時~3時 予防接種・乳幼児健診は完全予約制です。
	午後	磯貝	磯貝	磯貝		磯貝	
眼科	午前	深澤 (受付11:30迄)	深澤	平井 (山梨大学) (受付11:30迄)	深澤	深澤	深澤
	午後		検査・外来手術 深澤 (予約制)		検査・外来手術 深澤 (予約制)	検査・外来手術 深澤 (予約制)	
耳鼻科	午前	中澤 (受付11:30迄)		中澤 (受付11:30迄)		中澤 (受付11:30迄)	診療開始時間は9:30からとなります。 毎週月曜 午後 補聴器外来(不定期・月2回)
脳外科	午前		三枝 (頭痛外来)	三枝			
	午後					三枝	
皮膚科	午前					水越	
	午後	水越		水越	水越 (診療開始15:30~)		
禁煙	午前					熊澤	予約制です。
リハビリ問診	午前	水越		金城	水越		リハビリ問診はリハビリ室にて行います。
	午後	金城	金城	金城	金城	齊藤	

## 交通アクセス



## 【診療科目】

内科・外科・消化器内科・消化器外科  
呼吸器内科・整形外科・脳神経外科・小児科  
眼科・皮膚科・麻酔科・リハビリテーション科  
血液浄化センター(人工透析)

## 【設備】

マルチスライスCT装置、マンモグラフィー  
MRI装置、超音波装置、骨密度測定装置  
内視鏡、外科用イメージ、連続血管撮影装  
置、総合リハビリテーション施設

## 【病床数】

総病床数 150床(一人当たり8㎡)  
血液浄化センター 18床

## 医療法人康麗会 笛吹中央病院

〒406-0032  
山梨県笛吹市石和町四日市場47-1

電話(代表) 055-262-2185  
FAX(代表) 055-262-5985  
URL(ホームページ) <http://www.fch.or.jp>

## 編集後記

10月になり、朝晩の空気がひんやりとしてきましたが皆さんはいかがお過ごしでしょうか。当院は先月「トリアージ」と呼ばれる災害時における傷病者の救護訓練を行いました。また、東日本大震災からほぼ1年半が経過しました。山梨県でも今までに経験した事のない大きな揺れに見舞われ、それをきっかけに防災に対する意識が変わった方もいらっしゃると思います。将来地震が発生する可能性があると言われてますが、変に不安がることもなく、防災袋の準備・内容の確認や発生した時にどの様な行動をとったらよいのか、この機会に考えてみる事も必要なのかもしれません。

## 広報委員会

委員長:山口医師  
編集長:新田  
早川・井上・名執  
窪川・望月(成)・森澤  
宮下(光)・吉村(知)  
芹澤・相川(美)

## 携帯QRコード

